

五戸総合病院地域医療研修を終えて

2021年7月

順天堂大学医学部附属浦安病院 初期研修医2年

山下 麻衣子

7月、五戸総合病院で外科研修をさせていただきました。新型コロナウイルス感染症流行の最中、研修の機会を設けていただき、誠にありがとうございました。

1か月の外科研修では、外科手術をはじめ、病棟管理、外来診療、施設への往診や訪問診療、警察署での検案を経験しました。五戸総合病院外科は急性期の緊急開腹手術から、終末期の緩和治療まで幅広く医療提供を行っており、毎日たくさんのことを学ぶことができました。多くの患者さんを診ることで、自分の勉強不足を痛感し、愕然とすることもありました。手術ではcvポート造設術、褥瘡デブリードマンの執刀医をさせていただき、これまでに経験したことのない緊張感や責任を感じました。一研修医にこのような貴重な経験の場を提供してくださった先生方にはとても感謝しております。医師になってはじめて経験した訪問診療では、自宅で家族に囲まれて生活する患者さんの姿を目の当たりにし、暗い印象があった自宅介護のイメージが変わりました。

また季節柄、土地柄かハチに刺された患者さんが大勢外来に来たことも懐かしい思い出です。

青森県は豊かな自然を持ち、食事でも大変おいしく、週末もとても楽しく過ごすことができました。館鼻岸壁朝市が一番のお気に入り、7月中に三度足を運びました。本当に最高です。

お忙しい中、いつでも優しく、褒めて伸ばして指導して下さった安藤先生、井上先生、後村先生には深く感謝申し上げます。ユーモラスにあふれ、素晴らしい先生方の下で研修をすることで、助長補短を心がけて多くの学びを得ることができました。先生方のライフストーリーには刺激を受けた部分が多く、私も東北出身の人間として、いつかまた東北地方の医療に貢献したいという気持ちが強くなりました。次またお会いした時に成長した姿を見せることができるよう、より一層励んで参ります。

最後になりますが、1か月という短い間、五戸総合病院スタッフの皆様、大変お世話になりました。地域医療を通して皆様の優しさに触れ、医療とはどうあるべきなのか考え直すいい機会となり、患者に寄り添える医師になりたいという初心を思い出すことができました。ありがとうございました。